



ビュー活動で比較的有用性の高いと考えられる現在完了継続用法を、単元をまたいで学習する。また、教科書の本文については、修学旅行終了後に学習する予定である。そのため、学習過程の齟齬が与える影響については、十分に配慮して計画を立てていく必要がある。

## ②本単元に関わる生徒の実態

〔コミュニケーションに対する関心・意欲・態度〕

学んだ英語を使って、積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が多い。同時に、英語を使ったやりとりを楽しんでいることのできる生徒が多い。一方で、自分から話しかけることに苦手意識を抱いており、時間をもてあましてしまう生徒も数人いる。

〔表現の能力〕

テーマについての英作文やスピーチには、積極的に学んだ表現を使おうとする生徒が多い。その際、ジェスチャーを駆使したり、例を挙げることで自分の伝えたいことを表現しようと工夫できる生徒が多い。

〔理解の能力〕

英語での指示には適切に動くことが出来る生徒が多い。また、コミュニケーション活動などでは、相手の伝えようとしていることを理解できる生徒が多い。一方で、長文読解の読み取りは苦手とする生徒が多い。このことから、細かいところに注意して正確に読み取ることが苦手だが、大意を読み取ったり、全体像を掴んだりすることは得意とする生徒が多いと言える。

〔言語文化に対する知識・理解〕

文法的な正確さに注意する意識が低く、相手に意味が伝われば細かいところは多少間違えていても大丈夫だろうと考えている生徒が多い。実際に、細かい文法上のミスは多く見受けられる。

## ③指導方針

- ・修学旅行で、外国人観光客との思い出の一枚の写真についてプレゼンテーションを行うという課題設定により、学習のゴールを見据えた学習ができるようにする。
- ・思い出の写真についてプレゼンテーションを行うためには、外国人観光客についての説明も不可欠であることを伝え、インタビュー活動を行う必然性を高める。
- ・外国人観光客へのインタビューは、現在完了の質問に限らず、既習の学習内容を含んだ質問も推奨することで、英語を学習していることの有用感が高まる工夫をする。
- ・単元の導入時に、外国人観光客に聞いてみたい質問を列挙させていく中で、既習の知識では質問することのできないものを取り上げ、現在完了を学ぶ必要性を感じさせる。
- ・外国人観光客へのインタビューの中で、前単元の最後に行った「修学旅行で訪れる予定地の紹介」も行わせることで、前時とのつながりをもたせ、「受け身」の更なる定着を目指す。
- ・ペアワークやグループでの活動を取り入れることで、わからないところは仲間に気軽に質問できるような雰囲気を作る。

## 3. 単元（題材）の目標

修学旅行先で撮った外国人観光客との思い出の一枚の写真について、外国人観光客の詳細に触れながら英語で説明することができる。

## 4. 評価規準

コミュニケーションに対する関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語文化に対する知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人へのインタビューの質問を意欲を持って作成しようとしている。</li> <li>・写真の説明の練習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化について、受け身を使って紹介することが出来る。</li> <li>・現在完了の文を用いて質問したり答えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身や現在完了を用いた文について、内容を正しく理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の過去分詞を適切に用いて、受け身及び現在完了の英文を書くことができる。</li> </ul>

5. 指導計画（全6時間予定）

時	○ねらい・学習活動	指導上の留意点	評価の観点			
			関	表	理	知
1	現在完了継続用法について理解し、外国人観光客への自己紹介を考えさせる。	単元のゴールを説明し、オリエンテーションも兼ねて現在完了の導入を行う。その際、生徒の考えた質問から継続用法を導入する。			○	○
2	現在完了継続用法の疑問文を理解し、外国人観光客への質問を書く。	実際の場面に即した状況で練習をさせるために、Role-playを取り入れ、即興性も重視する。			○	○
3	現在完了継続用法について理解し、外国人観光客への質問を書く。	前時の繋がりで Role-play を活動に含めることで、本文法だけでなく、インタビュー活動についての習熟も深められるようにする。			○	○
4 本時	外国人観光客へのインタビューのリハーサルをする。	場面をより具体的に設定し、インタビューをする際に必要な表現を考えさせ、Role-play や ALT とのリハーサルを通して、当日に自信を持ってインタビューできるようにさせる。	○	○		
5	外国人観光客と撮った一枚の写真について、発表する準備をする。	インタビューの結果を原稿に起こし、準備と練習の時間を十分に確保することで、正確性を重視しながら既習事項の定着を図る。			○	○
6	外国人観光客と撮った一枚の写真について発表する。	発表を聞いている生徒には、リアクションや質問に対しての指導をすることで、発表者が発表しやすい雰囲気をつくる。	○	○		

6. 本時

(1) ねらい

外国人観光客へのインタビューのリハーサルを通して、実践的なインタビューの流れを想定し、初対面の外国人と英語で会話をする際に必要な表現を考え、使うことができる。

(2) 授業改善の視点

外国人観光客へのインタビューのリハーサルを行うことは、初対面の外国人と会話する際に必要な既習表現を想起させることに有効であろう

(3) 準備

教師：パソコン、パワーポイント資料、ワークシート

生徒：ワークシート、英語ファイル

(4) 展開

学習活動 ・予想される生徒の反応(*)	時間	指導 形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価
1. あいさつ 2. Warm-up 3. インタビューのリハーサルをする 4. 本時のめあてを確認する	10 分	ペア グループ 一斉	・インタビューの詳しい流れを説明せずにリハーサルを行わせることで、自分たちで足りないことに気付けるようにする。 ◎今までの授業のプリントを確認させながらインタビュー活動をするよう助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     本時のめあて（ねらい）                      初対面の外国人観光客にインタビューする際に、必要な表現は何か。                 </div>			
5. 前のリハーサルの中で、初対面の相手に対してインタビューする際に不十分であったところをグループで話し合う。		グループ	・実際の場面を想定しながら話し合うように助言することで、より細かい流れの中で必要になってくる表現について考える事が

<p>*挨拶がなかったな。 *お礼を言わなきゃいけないな。</p> <p>6. 話し合った内容を踏まえて、再度リハーサルを行う。</p> <p>7. 全体で、初対面の外国人観光客にインタビューする際に必要な表現の確認をする。</p> <p>8. 確認した内容を踏まえて、リハーサルを行う。</p>	35分	<p style="text-align: right;">できるようにする。</p> <p>グループ ◎ T2、ALT とともにグループの進捗を確認し、個別に質問に対応したり、アドバイスしたり、励ましたりする。</p> <p>一斉 ・全体で確認することで、インタビューの際に必要なあいさつや自己紹介、お礼など最低限必要な事項を押さえる。</p> <p>グループ ◇評価 インタビューの具体的な場面を想定しながら、受け身や現在完了の文に合わせて、基本的な挨拶や自己紹介などを英語ですることができる。 (観察・ワークシート) [表現]</p>
<p>9. めあてに対しての振り返りを行う。</p>	5分	<p>個人 ・グループ単位で活動してきたことを、個別で振り返らせることで、本時のめあてを全員が達成できるようにする。</p>

7. 板書計画

Today's goal : 初対面の外国人観光客にインタビューする際に、必要な表現は何か

<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつがない</li> <li>・自己紹介がない</li> <li>・写真を撮ってもらえるか聞かなきゃいけない</li> <li>・お礼がない</li> </ul>		<p>Excuse me. May I talk to you? My name is... I'm from... Could you take a picture with us? Thank you. Have a nice day.</p>
--	---	--